

奨学給付金 よくある質問(Q&A)

《応募資格等について》

Q 1: 世帯年収は選考で関係しますか？

A 1: 応募資格の世帯年収は選考に関係があります。

奨学金ですので、成績・人物の他、経済的理由により修学が困難な者として
います。

選定基準としては設けていませんが選考委員会の実態として、近年採用された
奨学生の方々を参考にすると、親子 3~4 人世帯で税込みの年収が 500 万円
以下の場合がほとんどです。

なお、世帯人数が多い場合やご家族に障がい者・長期療養者等がおられる
場合等、奨学金が必要な事情がある場合は、その理由を記載して申し込みを
していただくようお願いします。

Q 2: 成績の基準はありますか？

A 2: 奨学金ですので、原則として成績の上位者から採用しています。

高校 1 年生の方は中学 3 年生の成績、高校 2 年生と 3 年生の方は高校の
成績の平均値が 4.0 以上となっています。

大学生については学部・科の中位以上の成績の者としています。

なお、その成績に満たない場合で学校長の推薦がある場合は応募可能としま
す。その場合は、「推薦書」のその他特記事項に「学校長推薦理由」を追加して
記載して下さい。

なお、学校長推薦理由の記載がない場合は、選考委員会の資料で「学校長の
推薦なし」と報告を行います。

Q 3: 奨学金の選考にあたり、進学校が優先されたりしますか？

A 3: 在学校の成績で応募者全員を横断的に評価していますので、何れの学校の
生徒も皆さん同じ条件です。具体的には、「Q2」に記載する基準で選考していま
す。

奨学金の選考は、その学校で頑張っている生徒の「志と夢の実現」を支援して
います。

Q 4: 成績以外にも応募できる資格はありますか？

A 4: 成績に該当しない場合でも、応募できる資格はあります。

スポーツ、芸術、創作能力等に於いて、県内等の大会で優れた実績があり、
高校卒業後も大学等での競技等を志向している者で学校が推薦する者は給付
の対象とするとしています。具体的な内容は募集要項をご確認下さい。

Q 5: 成績やスポーツ等の他に評価される場所がありますか？

A 5: 奨学生として採用された方々は、成績・人物ともに申し分ないと評価される方がほとんどです。

募集要項には、日頃の学習活動をはじめ、生活の全般を通じて態度・行動が学生・生徒にふさわしく、将来、良識ある社会人として活動できると学校から推薦がある者という基準があります。

例えば、生徒会、部活動等でリーダー的役割を果たしたことがある者、自主的にボランティア活動や社会奉仕活動等を行った経験がある者等(あるいは、現在そうである者)は評価しています。

また、人に寄り添い支えることができるような人物も評価しています。

《 学校の指定、個人応募について 》

Q 6: 奨学生に採用される学校の指定はありますか？

A 6: 予算に限りがありますので、当財団では、佐賀県東部に所在する高等学校、及び4年制大学を指定していますので、これらの学校から奨学生を採用しています。

Q 7: 現在、奨学生に採用されていますが、事情により転学を希望しています。奨学給付生として継続することは可能ですか？

A 7: 学校在学中に奨学生に採用された後、佐賀県東部の他の学校に転校する場合は、一定の条件のもと継続採用は可能です。ただし、手続きが必要になります。奨学金の事業は、法令に基づく認定事業ですので、在学中に「転校」という手続きを行って下さい。
先に退学してしまうと奨学生の資格を失いますので、事前に相談して下さい。

Q 8: 在学を bypass せずに、個人で応募できますか？

A 8: 応募書類には、学校長等の推薦書を願っていますので、在学を bypass して当財団に応募して下さい。

Q 9: 学校から推薦できる人数に制限がありますか？

A 9: 当財団では、推薦できる人数については、年度ごとに検討しています。予算に限りがあり、状況をみながら新規の推薦依頼人数は個別にお知らせしています。

Q 10: 推薦人数に「〇人程度」と記載がある場合の程度の幅を教えてください。

A 10: 程度の幅はプラス1名とご理解下さい。複数名の場合は、プラス1名を校内で選考して頂ければ助かります。

《 応募期間について 》

Q 11: 申込み期限を過ぎてしまいそうですが、受け付けてもらえますか？

A 11: 数日程度(選考委員会の準備に間に合う程度)であれば、遅れても受け付けています。添付書類が間に合わない等の理由で書類の送付が遅れる場合は、事前にご連絡をいただくと助かります。

《 願書等の書き方について 》

Q12: 願書は電子データをダウンロード後、パソコンで入力しても良いですか？

A12: パソコンで作成して頂くことに問題はありますが、生徒自身が記載する夢や目標は本人記載を条件とします。

Q13: 父親が今年の3月に失業しました。その後、5月に別の会社に就職しました。年収はどの様に記載すれば良いですか？

A13: 前年分(1月～12月)の年収が報告の対象となっています。源泉徴収票及び、確定申告の対象期間は、1月～12月です。その間で失業期間があれば願書に補足して下さい。

Q14: 3月迄専業主婦でしたが、4月から自営業をはじめました。4月以降の確定申告が出せません。どの様にすればよいですか？

A14: 収入は前年分(1月～12月)なので、その分の証明(収入がない事)を提出して頂ければ大丈夫です。

Q15: 同一生計だった兄が来月結婚して別世帯になります。住民票及び願書の記載はどの様にすれば良いですか？

A15: 住民票は「世帯連記式」で提出して下さい。願書には、「〇月より〇〇の理由により別世帯」と記載して下さい。

Q16: 近頃、保護者が亡くなりました。死亡届の証明書が必要ですか？

A16: 死亡証明書は必要ありません。家庭環境の変化について、学校側が補足して頂ければ大丈夫です。

新規応募の方は、「推薦書」の家庭環境欄に記載して下さい。継続応募の方は、「在学状況証明書」の⑩その他の特記欄に記載して応募して下さい。

Q17: 特に苦しい生活実態がある場合には別途その旨を記載することになっていますが、特に定められた様式等がありますか。また、手書きでも大丈夫ですか？

A17: 任意の様式で結構です。また、手書きでも全く問題ありません。

Q18: 願書の「※1 生活費や学費の捻出の仕方について」は、記載した方がよいですか。？

A18: 記載して頂いた方が、配慮すべき申請者として認識し易くなります。
当財団では、「経済的理由等により修学が困難で奨学金を必要としている」ことに重きを置いています。
経済的理由は選考で重要な判断材料になりますので、ご家庭の諸事情を正直に記載頂けると助かります。

Q19: 願書に保護者の署名印鑑は必要ないですか？

A19: 様式変更で分かり難くなったかも知れませんが、2枚目の下段に保護者の署名押印の欄があります。保護者から願書の記載事項に相違ないことの証明を頂きたいと思いますので、提出前にご確認頂けると助かります。

Q20: 在学状況報告書を記載するのは、学校ですか、それとも保護者ですか？

A20: 原則として、保護者に記載して頂いています。学校は記載内容に相違ないことを証明して頂く為、内容確認のうえ、学校名と校長の記名等をお願いしています。

《 提出書類について 》

Q21: 高校1年生で応募する場合、中学3年生の成績証明書が必要となっていますが、特別な様式で作成する必要がありますか？

A21: 中学3年生の成績表の写しで構いません。成績のみ必用ですので、コピーの際に、不要な欄は黒塗りでお願いします(成績以外の個人情報に該当する内容は除いて下さい)。

Q22: 個人事業(自営)で所得が少なく、税法上、確定申告が不要となっていますので、所得を証明する書類が提出できません。

A22: 採用された場合には、所得証明書(全部事項記載)の提出を求めますので、何れにしても税の申告は必要となります。早めの対応をお願いします。
なお、事前に相談して頂ければ、所得等が証明できる書類を検討します。
ただし、選考の場で証明書として採用されるとは断言できません。
仮に、公的扶助(生活保護等)の対象である場合には、公的扶助の対象である証明書を提出して頂ければ大丈夫です。

Q23: 採用後に所得証明書(全部事項記載)の提出が必要ですが、アスタリスクの所得証明書は受理しないとなっています。その理由を教えてください。

A23: 税の申告が行われていない場合には、アスタリスク表記の所得証明書が発行されます。採用後に改めて、副収入や配当等を含む世帯収入を確認します。その際、内容が確認できないものは無効ですので、所得が少ない場合でも税の申告を行って提出して頂くようお願いします。
なお、提出して頂けない場合は、“応募要項に定める事項を守らないとき”に該当しますので、奨学金の返還対象になります。

《 その他について 》

Q24: 奨学金の給付は、原則として年2回になっていますが、一括で給付できないでしょうか？

A24: 応募要項のルールを曲げて給付するだけの理由があるか否かになると思われ
ます。
なお、ご家庭からではなく、学校側(管理職)からその事情を伺ったうえで、財団事務局で検討します。なお、本来、奨学金は主に修学に利用するものであることから、一括給付を必要とするものではないと考えています。

Q25: 保護者若しくは、学校側で奨学金応募要項の交付決定の取消、給付停止、返還に該当する事案を把握しました。どの様に対応すれば良いですか？

A25: 速やかに当財団へ連絡して下さい。その理由にあった措置(給付停止や返還等)を判断し、速やかに対応を連絡します。

Q26: 奨学給付生が事情により、既に当校を退学しています。何か手続きが必要でしょうか？

A26: 本来は、退学前にご連絡を頂き、その理由等を伺ったうえで、その理由にあった措置(給付停止や返還等)を判断しています。
財団で所定の様式を準備していますので、辞退届け(退学理由等を含む)を提出して頂くこととなります。

Q27: 今年の春に継続申請の案内を頂いたが、奨学給付生が昨年の秋に転校していました。財団への手続きなどに気が回らずにそのままになっていました。どの様にすればよいですか？

A27: 本来であれば、転学の前に事前に相談して欲しい内容です。
佐賀県東部に所在する学校(通信制など)へ転学であれば資格を有しているといえます。転学先の学校が分かれば、当財団から継続申請の書類を揃えて対応します。

Q28: 保護者もしくは、学校側で奨学金応募要項の異動等の届出に該当する事案を把握しました。どの様に対応すれば良いですか

A28: 財団へご連絡下さい。所定の様式を準備していますので、ご案内します。